



石橋きよたか県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

戦争末期の空中写真収集を

在来種の種子保存を提唱

伝統野菜の栽培継承を求め



県議会一般質問で在来種子の保存を訴える石橋議員

東金市特集 9月県議会一般質問

将来を見据えた大きな視点から、県政へ提言する東金市選出の石橋清孝(いしはら・きよたか)県議は、九月定例県議会の一般質問に登壇し、九十九里地域に多く残される防空壕などの戦争遺跡の歴史的価値に言及し、米軍が撮影した戦争末期の空中写真の収集などを求めました。他には、県内の伝統野菜の栽培継承や山武杉の保存など地域の固有資源を活用した施策を提唱しました。1、2面で特集します。

石橋議員 世界中で作物の種子の保存に力を注いでおり、国内でも国の機関で遺伝資源の収集・保存を行っている。県は、在来種の種子の保存についてどう考えているのか。

堂本知事 日本の在来野菜の多くは、明治維新以降に国外から伝わった品種。系統の形質が導入されています。県内には、野菜や果樹などで、たくさん在来種があるかと推測されますが、県としては、作物の品種育成への活用のため、可能な限り在来種の種子の保存に努めています。

作物の品種育成など試験研究への活用が見込まれるものは、県農林総合研究センターで、それ以外のものは国の独立行政法人「農業生物資源研究所」のジーンバンクを活用し、保存しているところだ。

で安定的に在来種の生産や保存ができるよう、技術的な支援を行っています。具体的には、君津の枝豆「小糸在来」や東葛飾の坊主不知ネギの「向小金」等については、加工品の開発や原種の配布を行うなど、在来種の振興を図っています。こういうことはもっと盛んになった方がよいと思います。

米軍が撮影した空中写真などは、県史編さん事業の中で約四十点を収集していますが、戦争の歴史を後世に伝えるためには、必ずしも十分に収集できていないのが現状です。

貴重な歴史資料の収集検討

石橋議員 戦争末期に米軍が九十九里から上陸する計画があり、そのために空中写真を多数撮影した。県が戦前の様子がわかる空中写真を入手する考えはないか。

総務部長 県では、公文書だけでなく、本県にかかわる古文書その他の歴史資料を後世に継承するとともに、県民の郷土に対する理解を深めるため、民間からの寄贈や寄託を含め、これらの資料の収集・保存を文書館で行っています。

市民の声を県政に届けます!

県政に関することはお気軽に
石橋きよたか 県議事務所
〒283-0005 東金市田間174-2
TEL.0475(52)1588
FAX.0475(52)1598

石橋きよたか県議プロフィール

- 経歴○
- 昭和24年1月 東金市道庭生まれ
- 昭和42年3月 県立千葉東高校卒業
- 昭和47年3月 明治大学経営学部卒業
- 昭和47年4月 新東京国際空港公団入社
- 昭和60年4月 道庭区長(61年)
- 平成11年8月 県議会議員補選初当選
- 平成19年4月 県議会議員3選
- 現職○
- 千葉県健康福祉常任委員会委員
- 自民党県連組織委員会副委員長
- 自民党県連総合企画水道部会長

サンプスギ再生事業を加速

東金市特集

溝腐病に強い新品種を育成へ

石橋議員 サンプスギの溝腐病対策の実施状況はどうか。

その結果、平成十九年度までに被害の大きい森林の三分の一に当たる七百八十七ヘクタールの伐採を行いました。また、資源循環の視点から、伐採した被害材の有効利用も重要であることから、「サンプスギブランド化推進事業」により、内装材や小学校の学習机の天板に利用するなどサンプスギ材の需要拡大を図っているところです。

農林水産部長 サンプスギの溝腐病対策としては、現時点では被害木の伐採しか方法がなく、平成九年度から「サンプスギ溝腐病総合対策事業」を導入し、平成十六年度までに五百四十七ヘクタールの伐採をしました。

平成十七年度から、「サンプスギ林再生事業」に組み替え、被害木を伐採した跡地への植林を加えて、再生に向けた取り組みを一層加速させることとしました。

石橋議員 品種としてのサンプスギの保全に、どのような対策を取っているのか。

農林水産部長 サンプスギは、山武地方で古くから育てられた挿し木品種で、溝腐病にかかりやすい点を除けば、材木としては優秀な性質を多く持っていることから、将来における苗木の生産の再開や新たなサンプスギの台木を森林研究所において保全しています。

また、山武地域に残る大径木の中には、溝腐病にかかっているものがあるため、昭和五十六年度から、挿し木による遺伝子保存林を造成し、サンプスギと同様の性質を持ちながら溝腐病に強い新たな品種の生産に向け、保育・観察しているところです。



サンプスギの林を視察する石橋議員



再質問で要望する石橋議員

懸案の山武地域の医療問題で、石橋県議は一般質問の中で次のような要望を行いました。

要望 山武地域の救急医療を含めた地域医療の水準向上を目指した九十九里地域医療センター計画が断念され、あらためて東金市、大網白里町、九十九里町を主体とした医療構想が立ち上がろうとしている。

協議の中で、安心できる医療体制の構築に向けて、関係市町がさらに一歩踏み出すことができるよう県の考える、必要な医療機能や病床規模、財政支援の内容を示すなど、議論をリードし、県がリーダーシップを発揮していただきたい。

国道126号拡幅工事の進捗

石橋議員 国道126号東金市田間拡幅の進捗状況と今後の見通しはどうか。

国土整備部長 国道126号東金市田間地先において、延長約二キロの四車化拡幅事業を進めており、これまで

で約一キロが完成しているところです。

残る区間の整備については、現在、交通処理方法等について、関係機関や沿道地権者等と協議を進めているところであり、これら協議が整い次第、四車化の工事に着手することとしています。

ます。

今後とも、関係者の理解と協力を得ながら、早期完成が図られるよう努力してまいります。

栗山川改修工事に着手

石橋議員 栗山川の河川改修事業の進捗状況と、今後の見通しはどうか。

国土整備部長 栗山川については、河口から多古町の飯土井橋までの約十七キロを広域河川改修事業により改修を進めており、このうち、河口から約五キロは、暫定改修が完了しています。

現在、その上流市街地部約二・九キロについて、平成二十二年度完了を目的に重点的に整備を進めており、今

要望 成東方面への四車線化について、必要な用地を買収していただき、早期に事業着手するよう要望する。



橋場国土整備部長に地元からの栗山川改修要望書を手渡す石橋議員

9月県議会 一般質問
市民のために着実に
石橋きよたか
清孝

9月県議会自民党代表質問
重要課題で知事を追及

九月定例県議会で、最大会派の自民党が党の代表質問を行いました。

代表質問は、財政問題を筆頭に、逼迫する自治体病院への支援策を含む地域医療問題や救急医療問題と先端医療、食の安全・安心、三番瀬問題、今後の企業立地、農林水産業などいずれも県政の重要課題を取り上げ、堂本知事の姿勢を追及し、党としての懸念を表明しました。

知事は、九月補正段階でもなお九十億円の財源不足には、「楽観が許されない」として、滞り整理や全庁一丸での経費削減による年度内の財源不足解消を表明しましたが、全体としては、県政への明確な姿勢はみられませんでした。